富山・道場（どうじょう）Ⅰ遺跡

1　所在地　富山県婦負郡婦中町道場字下屋敷

2　調査期間　一　第一次　一九九八年（平10）一〇月～一二月
　　二　第二次　一九九九年五月～一一月

3　発掘機関　(財)富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所

4　調査担当者　酒井重洋・森　隆・三島道子・武田健次郎・青山　晃・吉田裕子・内田亜紀子・野口雅美・戸谷邦隆・金三津英則

5　遺跡の種類　集落跡

6　遺跡の年代　一三世紀～一七世紀

7　遺跡及び木簡出土遺構の概要

道場Ⅰ遺跡は富山県のほぼ中央の婦負郡婦中町に所在し、神通川左岸及び中小河川によって形成された複合扇状地上にある。調査は県営公害防除特別土地改良事業に伴うもので、調査面積は延べ約二七〇〇〇㎡である。遺跡は自然河道の西岸に形成された集落で、南北方向の溝を基軸とし、区画溝によって整然と区画されている。建物の軸方向や遺構の切合いなどから、集落は区画以前・区画を伴う時期・区画が解体する衰退期と三段階以上の変遷をたどることができ、近世には集落は消滅または移動していったものと考えられる。出土遺物には一三世紀～一六世紀代の中世土師器、瀬戸美濃・珠洲・八尾製陶器、中国製青磁・白磁、石製品、漆器などの木製品があり、一四世紀～一五世紀のものが大半を占めている。

木簡は一次調査で一点（一(1)）、二次調査で一点（二(1)）の計二点が出土している。一(1)は木組井戸SE一八〇二の覆土中から、総黒漆の漆器椀と共に出土している。SE一八〇二は、斎串状木製品を出土した木組井戸SE一八〇一の掘形を切っている。二(1)は木組井戸SE二五の木組下部に据えられた曲物の覆土中からの出土である。SE二五は区画溝に切られており、一三世紀末から一四世紀初頭頃のものと考えられる。二点の木簡は共に木組井戸から出土したが、当遺跡では木組井戸は石組井戸に先行するもので、集落の初期の段階（区画以前）に伴う遺構と考えている。

8　木簡の釈文・内容

一　第一次調査

(1)　「〈南无大日如来

(202)×20×4　061

上端を三角形に削り、その下部に二ヶ所の切り込みを入れている。下端は欠損しているが先端を尖らせた形態になり、卒塔婆に似た形状と想定される。裏面には墨書は見られない。

二　第二次調査

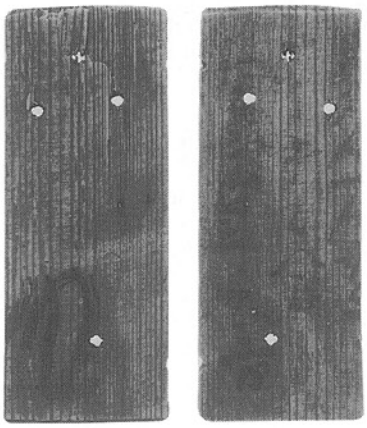
(1)　・「〈。□□□一人廿□　〈
　　　　。□□□ベシ。
　　　　。□□五年廿三日　」
　　　　〔正カ〕
　・「〈。　　〈
　　　。　　。
　　　。　（花押）　」

87×(35)×4　031

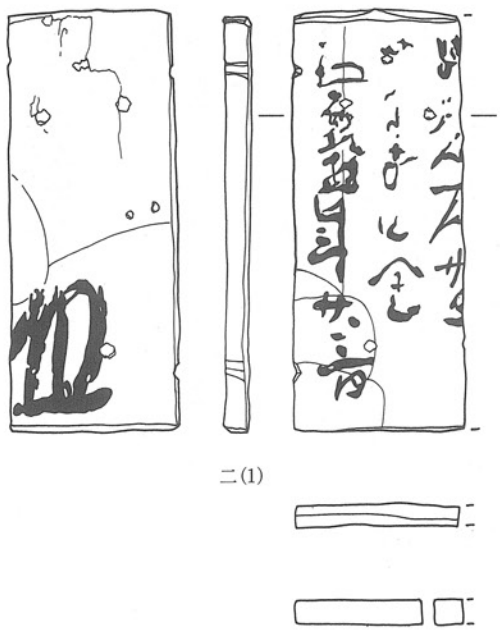
上端を浅く三角形に削り、左側面の上下二カ所に切り込みを入れる。右側面は一部欠損しているが、上端の三角形の頂点を中央とすると、欠損部はごく一部と思われる。木札の表面は丁寧に削られ、

一(1)

一(1)



二(1)



二(1)

特に花押部分は花押を書くことを想定して、調整しているようにも思われる。また、貫通する穿孔が四ヵ所、さらに裏には、貫通していないが二ヵ所の穿孔がある。これらの穿孔は文字を切っており、二次的なものであろう。表の文字は三行以上にわたり、二行目は片仮名で「□□□ベシ」とも読める。三行目の年号ははっきりとしないが、一文字目は「正」かと思われ、三文字目を五年（あるいは丑年）とした場合、他の出土遺物の時期などから正応五年（一二九五）、正和丑年（一三一三）、正和五年（一三一六）の三つの候補をあげることができるが、確定はできない。裏の花押は荘官クラスの人物のものと思われ、比較的整ったものであるという。本木簡は、石井進「中世木簡の一形態」（本誌第一〇号）などに紹介されている、新潟県馬場屋敷遺跡出土の山札・茅札に、形状・書式・時期などが類似している。本木簡も山札・茅札の類の可能性があろう。

木簡の釈文及び花押については、富山大学の富田正弘氏のご教示をいただいた。

9　関係文献

(財)富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所『埋蔵文化財調査概要―平成一〇年度』（一九九九年）

同『埋蔵文化財調査概要―平成一一年度』（二〇〇〇年）

野口雅美「道場Ⅰ遺跡出土の井戸祭祀に関わる遺物」（『富山考古学研究』二　一九九九年）

（三島道子）

新潟・竹直神社遺跡（たけなおじんじゃ）

1　所在地　新潟県中頸城郡吉川町大字竹直字南浦

2　調査期間　一九九七年（平9）四月～五月

3　発掘機関　吉川町教育委員会

4　調査担当者　新保誠吾

5　遺跡の種類　遺物散布地、自然流路跡

6　遺跡の年代　九世紀中頃～一〇世紀中頃、一四世紀～一五世紀

7　遺跡及び木簡出土遺構の概要

遺跡は新潟県の南西部、吉川町の西方、直線的な海岸と東頸城丘陵との間に形成された沖積平野とそれに接する原之町台地の縁辺部に位置する。付近の沖積地には同時代の古代・中世の遺跡が多く確認され、新保遺跡（木炭槨木棺墓に伴う須恵器壺底部に「石神」の墨書あり）・江島神社遺跡（一五世紀の土塁・堀を伴う館跡）なども発掘調査されている。

（柿　崎）

本調査は、国営農地再編